

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 親と子の野菜スクール

JA名 JA佐伯中央 (広島県)

1 動機 (経緯)	JAバンク協調型事業教育活動助成事業を活用したJA食農教育の展開により、食の大切さ、農業への理解を深めてもらうことを目的に実施しています。
2 概要	JA食農教育の一環として、当組合管内の小学生児童を持つ家族に参加していただき、野菜の植え付け、草取り、収穫、料理と一連の過程を通して土に触れ、農作物を栽培し農業を身近に感じていただくとともに、管内農家見学を含め家族で農産物・農業理解を深めていただいています。
3 成果 (効果)	平成 23 年度は 16 家族が参加、平成 24 年度は 18 家族が参加、平成 25 年度についても 20 家族が参加を予定しており、参加家族・人数ともに増加してきております。 (従来取引の無かった方も参加をきっかけに、JAを身近に感じ、取引開始となった方もいらっしゃいます。)
4 今後の 予定 (課題)	参加家族・人数を増やしたいと思いますが、対応に限度があり、形を変えたJA食農教育の展開が必要と考えています。 (野菜品種別の体験農業や他JAとの交流会等)